

巻頭インタビュー



富士自然観察の会
会長

小澤 緑さん

Interview

富士自然観察の会西日塚観察会2021



人と自然から学ばせていただく。 富士山の素晴らしい自然環境に感謝!

設立の経緯

富士自然観察の会の結成は、昭和50年代の終わりに富士市大淵の丸火自然公園にて日本自然保護協会による「自然観察指導員講習会」が行われたのが契機でした。この講習会の参加者有志が自然観察会を企画、会合を重ね、昭和60年（1985年）3月24日に設立され、総会を行いました。設立当時（昭和60年度）は会員数28世帯、観察会は6回でした。現在（令和4年度）は運営委員が30名、会員数は160世帯にもなっています。



浮島ヶ原自然公園から望む富士山

私が関わったきっかけ

もともと自然が大好きで幼少の頃から魚を獲ることが好きでした。家庭でも七草粥を食べたり、夏の

夜には庭で鳴く虫の声を聴いたり、玄関を開けると大きな富士山が見え「おはよう！」と挨拶したり、いつも暮らして共に自然、そして富士山がありました。結婚して娘が

通う原田小学校6年生の頃に、富士自然観察の会・前会長の山田高先生が校長先生になり、そこから会との関わりが始まりました。当時私はPTAの役員で、山田先生が創設された原田湧水クラブというエコクラブの活動写真を撮るお手伝いをするようになりました。

その活動写真を撮っているうちにいつしか私自身が自然観察に夢中になって、その後山田先生の勧めで、富士自然観察の会に入会しました。平成18年から24年に富士市環境マップ事業（富士市域を5000m×5000mのメッシュで区切り対象種を調査する）が行われ、初代会長の中山芳明先生のご指導を仰ぎながら、先輩たちと毎週海から富士山中腹まで駆け回った時のことが、土台としてあります。

富士自然観察の会、カナヘビを見つけたよ。



私が思う 自然との関わり

今では年間15回の通常観察会、毎月1回の平日観察会、毎月1回の季節だより観察会、また定期的な観察会のほかに、浮島ヶ原自然公園の土日祝ガイド、自然の調査・勉強会など、富士自然観察の会の活動のほか、

富士市環境アドバイザーを拝命していることから、富士市が実施する各事業への協力や静岡県の事業協力もしています。とにかくライフワークである自然観察の会に参加してくれる方



富士市子どもエコクラブ交流会宝永火口

が多くなったことは大変嬉しく思います。

より多くの方に、自然を好きになつて欲しいので、わかりやすく、そして、楽しくお伝えするにはどうしたらいいのかいつも考

えています。また、時代の流れを考慮しながら、人と自然が共生していくことが大きな社会のカギとなつていると共に、人と

人との繋がりが大切だと感じています。伝いできればなと思つています。最近では、活動に参加している子どもたちが、観察会のガイドを手伝ったり、保全活動にも参加してくれ頼もしい限りです。

まだまだ分からないことばかりですが、ありがたいことに植物、昆虫、生き物、岩石、自然遊びなど様々な得意分野を持った運営委員さんたちや、参加してくださる会員さんたちの支えがあり、また、行政の職員さんも熱心に協力してくれるお陰で、活動が成り立っています。多くの方から自然のことを学ばせてもらっています。



富士市の貴重な自然と偉大な先輩方に感謝

富士自然観察の会が今でも成長し、さらに魅力を高めている理由は、

ひとえにこの素晴らしい自然環境が整った富士市にあります。富士山を海から（海拔0メートルから）頂上までのすべてと捉え、頂上まで登らなくても至る所に富士山の魅力や富士山の恩恵を感じることが

ができるのは、富士市に住んでいる

からこそではないでしょうか。子どもたちにも「豊かな自然は富士山からの宝物」とか「富士山と一緒に暮らしているんだよね」とよく話します。

最後にこの富士自然観察の会を設立して下さった素晴らしい先輩方に改めて感謝を申し上げます。私は参加した当初から先輩方の背中を見て、試行錯誤しながらも全力で富士自然観察の会の活動を進めてきました。今後も、この活動に地域に根差したものにしていこうと、さらに盛り立てていきたいと考えています。



子どもたちが意見や感想を出し合っ作った原田新聞(2022)



サワトラノオガイド2022.5



おざわ みどり 富士自然観察の会 会長
小澤 緑氏 富士市生まれ富士市在住

- ・富士市環境アドバイザー
- ・富士市子どもエコクラブサポーター連絡会 会長
- ・原田湧水クラブ代表(子どもエコクラブ)
- ・静岡県環境学習指導員

- ボランティア
- ・チームちよこ美
 - ・原田読み聞かせの会
 - ・富士市生物多様性サポーター
 - ・浮島ヶ原自然公園ガイド

富士自然観察の会 公式ウェブサイト
<http://ukishimagahara.net/>
メールアドレス
fujishizen@ukishimagahara.net

